

# 工事監理状況報告書 兼 中間検査チェックシート

共通 NO-1

平成 年 月 日

船橋市建築主事 あて

工事監理者 住 所 TEL  
 事務所名 登録第 号  
 氏 名 印  
 資 格 一級 ・ 二級 ・ 木造 建築士  
 登録第 号

下記の建築物は建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合して施工され、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告いたします。

建物概要	1	建築確認番号	第 号
		建築確認年月日	平成 年 月 日
	2	建築主住所	
		建築主氏名	
	3	工事施工者	登録 年 知事・大臣 一般・特定 番号
		管理者氏名	TEL
	4	工事場所	
	5	構造	
	6	用途	
	7	工事種別	
8	階数		
9	着工年月日		
10	工事の工程		

<p>工事監理の状況</p>												
<p>検査結果</p>	<p>指摘事項</p>	<p>確認方法</p>						<p>チェック欄</p>				
<p>計画 変更</p>		<p>12条 5項</p>	<p>検討 書</p>	<p>写真</p>	<p>口頭</p>	<p>その他</p>						
<p>検査年月日</p>			<p>検査員 職氏名</p>									

※ 太線枠内は記入しないで下さい

# 集団規定

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結 果			
		施工者	監理者		一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①敷地の安全性 (法19条)	1. がけ又は擁壁の安全			A・B・C				
	2. 敷地の高低差			A・B・C				
②敷地と道路の 関係 (法42条, 43 条) 県条例等	1. 前面道路の幅員			A・B・C				
	2. 接道長さ			A・B・C				
	3. 敷地内通路			A・B・C				
③敷地面積 容積率 建ぺい率 (法52条, 53 条54条の2)	1. 敷地形状の確認			A・B・C				
	2. 確認申請図面の平面図との照合			A・B・C				
④外壁後退等 (法54条)	1. 建物配置の確認			A・B・C				
⑤道路斜線等 (法55条, 56 条, 58条)	1. 各部分の高さの確認 (立面図等との照合)			A・B・C				
	2. 緩和規定適用の場合の後退部分 の外構制限及び前面道路との高 低差等			A・B・C				
⑥確認表示板の 設置(法89 条)	1. 確認表示版の設置及び記載内容 の確認			A				
⑦工事現場の危 害の防止	政令第136条の2の7～ 第136条の8 仮囲い、防護ネット等			A				
⑧その他								

※ 太線枠内は記入しないで下さい

単体規定（構造規定）

（RC造） NO-2

検査項目	内 容	確認日付		検査方法	結 果			
		施 工 者	監 理 者	A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	一次 判定	判定 月日	二次 判定	判定 月日
①全体	全体	1. 柱、はり、壁、スラブの位置		A・C				
②共通	共通	1. 鉄筋の材質		C				
		2. かぶり厚さ		A・C				
		3. コンクリートの調合及び圧縮強度		C				
		4. 型枠支柱存置期間※		C				
		5. コンクリート打設後の養生※		C				
③地盤・基礎	支持地盤	1. 根伐り底の確認、地耐力等		C				
	基礎形状	1. 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、杭頭補強、偏心等		C				
		2. ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等		C				
	地中ばり	1. 断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等		C				
④柱	主筋	1. 柱径寸法、主筋の径、本数、配置（方向）		A・B・C				
		2. 二段筋の位置（間隔）、結束		A・B・C				
		3. 柱頭鉄筋の止まり高さ、各階止まり主筋の定着、主筋の出隅のフック、主筋のはりに対する定着		A・B・C				
	継手	1. 主筋の継手位置、長さ、主筋の出隅のフック		C				
	帯筋	1. 鉄筋径（副帯筋共）、間隔及び形状		A・B・C				
		2. 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強		A・B・C				
		3. 仕口部分の帯筋の配置		A・B・C				
		4. 第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置		A・C				
		5. 帯筋のフック形状、結束		A・B・C				
	⑤はり	主筋	1. 断面寸法、主筋の径、本数及び位置		A・B・C			
2. 二段筋の間隔の確保、長さ			A・B・C					

	定着・継手	1. 主筋の定着長さ、位置			A・B・C				
		2. 継手の位置と長さ			A・B・C				
		3. 主筋出隅部の継手末端フック			A・B・C				
	ふかし、貫通孔補強筋	1. 補強方法が適切か			A・B・C				
		2. 貫通孔補強筋（評定品の仕様）			A・B・C				
	あばら筋	1. あばら筋（副あばら筋共）の径と間隔			A・B・C				
2. あばら筋のフック形状、位置及び結束				A・B・C					
⑥ スラブ庇及び階段含む	スラブ筋	1. スラブ厚、鉄筋の径と間隔			A・B・C				
		2. 主筋配置（短辺・長辺）、バンド配筋、支持条件			A・B・C				
		3. 上端筋と下端筋の位置			A・B・C				
	定着・重ね継手	1. 定着の長さとはり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）			A・B・C				
		2. 片持ちスラブの定着			A・B・C				
		3. 継手の位置と長さ			A・B・C				
	補強筋等	1. 床スラブの出入隅部の補強			A・B・C				
		2. 開口部補強			A・B・C				
		3. 階段部配筋と定着、補強			A・B・C				
	⑦ 壁	壁筋	1. 壁厚寸法、鉄筋の径、間隔、			A・B・C			
定着・重ね継手		1. 定着確認（はり、柱、スラブ、壁定着）			A・B・C				
		2. 重ね継手の位置と長さ			C				
補強筋等		1. 開口部補強			C				
	2. スリット（完全・部分）の位置、形状及び配筋			C					
⑧ その他	設備配管等	1. 設備配線管の配置			A・C				
	ガス圧接継手	1. 欠陥の有無			A・C				
	特殊鉄筋継手	1. 評定、認定工法の確認			A・B・C				
⑨不具合の処置									
⑩添付図書									
合否判定	一次判定	合格	不合格	二次判定	合格	不合格			

※太線枠内は記入しないで下さい